

## 教材の紹介

●ものの位置関係や量感がとらえにくい児童のために教材を作りました。

### 算数 5年「円と正多角形」

支援：○具体物を使い視覚化することで、正多角形の特徴に気づく。

- ・角の相等：内角に色を塗り、角の大きさに着目しやすくする。
- ・辺の相等：辺の長さをそろえ実際に重ねたり比べたりしやすくする。

単元展開：①長方形，正方形，平行四辺形，ひし形の辺の長ささと内角の大きさを測り，色塗りをする。  
それぞれの四角形の性質をおさえる。

②対角線で2つの三角形に分ける。

正三角形，二等辺三角形，直角二等辺三角形の性質をおさえる。

(教材A 安心・安全なおうち作り：対角線で切ってきた三角形を屋根に見立てる)

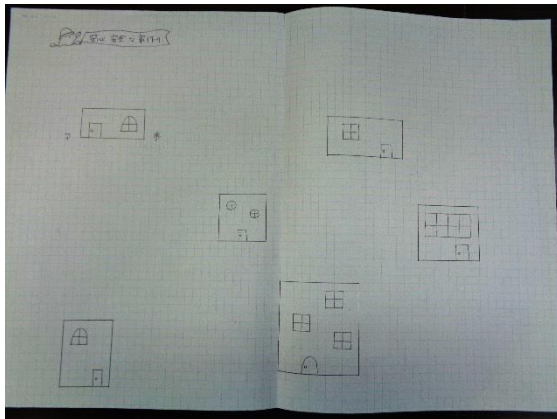
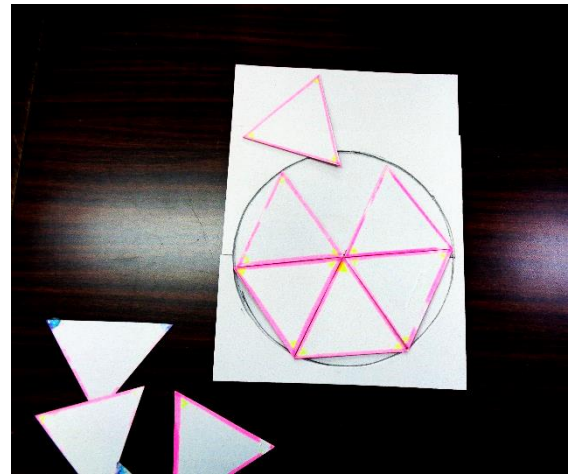
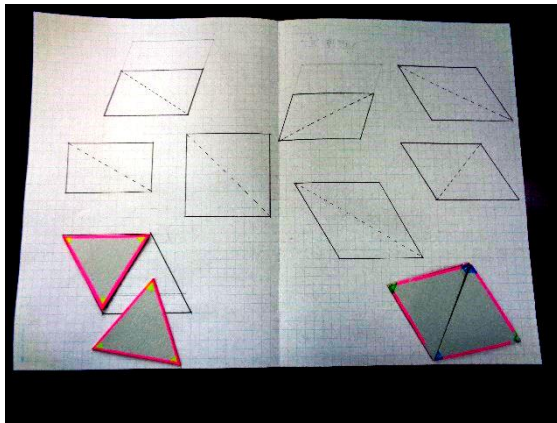
③円の中に正三角形をはめ込み，多角形の性質を一般化する。

→辺の長さが全て等しく，角の大きさも全て等しい多角形が正多角形

(教材B：正三角形8枚，二等辺三角形5枚，半径5cmの円の台紙)

(教材A)

(教材B)



←「かっこいい屋根をつけようね」

- ・正三角形，二等辺三角形，直角二等辺三角形を屋根に選んだ理由を考える中で，辺の長さ，角の大きさに着目させる。

◇1時間の展開

- ①対角線で切ってできた三角形の特徴を思い出す。(色：辺の長さ、角の大きさに着目させる)
- ②同じ形の三角形を円の中にはめ込み、多角形を作る。
- ③できた多角形の中から、六角形を取り上げ、その特徴を調べる。
  - ・六角形を作っている正三角形の性質を思い出しながら、多角形の性質を一般化する。
- ④振り返り
  - ・辺の長さがすべて等しく、角の大きさもすべて等しい多角形を正多角形ということがわかった。

**算数 6年「円の面積」**

支援：○具体物の操作を通して、発展的な円の面積の求め方を考える。

教材：①一辺 10 cmの正方形、二辺が 10 cmの直角二等辺三角形、半径 10 cmの円を 4 等分した形を操作し、面積の求め方を考える。

- ・図形にはラミネートをかけ、計算した面積を水性マジックで○cm<sup>2</sup>と書き込めるようにする。
- ・図形を重ねたり、線を引いたりして、求めたい図形を組みあわせて考える。

(教材 C)



**SST かるた**

○ 日常生活でおこったトラブルや友だちとの付き合い方、身につけたい生活習慣等について、具体的に取り上げ、SST トレーニングを行ったあと、合い言葉として簡単なかるたにしました。

例 (上の句)

(下の句)

自分がおもしろいと思うほど  
そろえよう 自分のことは  
負けても泣かない 怒らない  
「勝った!」と言わない  
終わりをそろえろと

人はおもしろくない  
あとまわし  
投げない 蹴らない にげださない  
いばらない  
はじめがそろえろ

など